

三陸沿岸道路 宮古中央インター線 開通1ヶ月後の効果

～ 花輪橋、小山田橋の交通が転換し渋滞が緩和 ～
～ 道路利用者も効果を実感 ～

三陸国道事務所では、東日本大震災からの復興に向けたリーディングプロジェクトとして、三陸沿岸道路等の整備を進めています。

このたび、平成25年3月23日に開通した三陸沿岸道路 宮古中央インター線について、開通後1ヶ月の交通状況を取りまとめたので結果をお知らせします。

○「花輪橋」「小山田橋」の交通が「千徳大橋」に転換し、渋滞が緩和しました。

●交通量の変化(午前7時～午後7時)

	開通前(H25.3.13)	1ヶ月(H25.4.24)	摘要
千徳大橋	—	6,300台/12時間	
花輪橋	9,600台/12時間	6,800台/12時間	交通量が3割減少
小山田橋	14,300台/12時間	12,800台/12時間	交通量が1割減少

●渋滞長の変化(午前7時～午後7時)

	開通前(H25.3.13)	1ヶ月(H25.4.24)	摘要
花輪橋	400m	10m	通過時間 5分50秒→2分10秒
小山田橋	530m	100m	通過時間 13分30秒→3分50秒

○道路利用者の方も、開通後の効果を実感されています。

●物流

「開通後も花輪橋を利用しているが、一般車両が千徳大橋に移り、花輪橋の混雑が解消したことで、以前より通りやすくなった。」(物流業者ヒアリング調査より)

●救急搬送

「花輪地区から宮古病院への搬送において、花輪橋は幅員が狭く追越しが困難で、渋滞も多発し搬送に時間がかかっていたが、千徳大橋は幅員が広く、所要時間も短いことから、千徳大橋を優先的に利用するようにしている。」(消防署ヒアリング調査より)

発表記者会: 岩手県政記者クラブ、宮古記者クラブ、東北専門記者会

〈問い合わせ先〉

国土交通省 東北地方整備局 三陸国道事務所

電話番号 0193-62-1711(代表)

副 所 長 としま まもる 戸嶋 守 (内線204)

調査第一課長 なりた しんたろう 成田 信太郎 (内線451)